



# 山 桜

城里町立七会小学校 学校だより  
令和6年10月15日 第6号  
城里町塩子2682 Tel:0296-88-2620  
Mail:512713@sch.ibk.ed.jp



令和6年度前期が終了しました。  
昨年度から2学期制になり、前期の終業式を先日迎えました。担任一同、お子様と通信票を確認しながら、これまでを振り返って頑張ったことを伝えました。後期は、更にお子様の成長する姿が見られるよう教職員一同努力していきます。

## 前きにがんばったこと

二年 入野 海

今日で、前期の学習がおわりになりました。ぼくが、前期の学校生活でがんばったことは二つあります。

まず、国語をがんばりました。その中でもとくに「作文」をがんばりました。すきなお話のせかいに行けたらという作文では、「森の中のぼくたち」という面白いのお話をかんがえました。げんこうようしをたくさんつかって、ちよつとこわいお話を作りました。



つぎは、算数をがんばりました。たし算やひき算をはやく正しくとけました。もっと大きな数の計算にもチャレンジしていききたいと思います。また、「かけ算九九」をマスターすることにもチャレンジしています。ぜんぶのだんをスラスラと言えるようにしたいです。

毎日が楽しい学校生活になるように、がんばっていきます。

## 前期の反省

四年 塚田 颯

ぼくは、前期の体育でとび箱をがんばりました。手の位置を前にしたら五段をとべるようになりませんでした。三年生のときはとべなかつたので、うれしかったです。これからのいろいろな運動をがんばりたいです。

生活では、給食の時間に完食できることがふえました。ふじ田先生や友達が声をかけてくれるので、前は食べられなかつたやさいが食べられるようになりました。にいぜき先生にもほめられてうれしかったです。これからも、給食をしっかりと食べたいです。

ぼくは、じゆぎょうのときに話をしてしまうことがあります。先生の話が分からなくなってしまうし、みんなにもめいわくをかけてしまいました。後期では、授業の時間にしずかに話を聞くようにします。

前期の反省を生かして、後期ももっともつとがんばります。

## 後期にあつたこと

六年 川村 七海

私は、この前期でがんばったこと、できるようになったことが二つあります。

一つは、学校のためにできることとして六年生で始めた朝のボランティア活動です。この活動を始めたころは、あまり乗り気ではなかつたのですが、教頭先生や青やぎ先生に「ありがとう。」と言われているうちにだんだんとやる気がわいてくるようになり、今では楽しくボランティア活動ができるようになりました。もう一つは、授業中に手を挙げるということです。五年生まで多少は手を挙げていたのですが、六年生になってからは、それまでよりも進んで手を挙げられるようになりました。まだ少しとまどってしまふことがあるので、後期はちゆうちよせず手を挙げていきたいです。

次に後期に向けて努力したいことが二つあります。一つは、漢字の学習です。私は、漢字を覚えることが苦手ですが、そのための努力をしませんでした。後期は、宿題の他に自主学習の量を増やしたり自分に合う学習の仕方を工夫したりして努力していきます。もう一つは、読書冊数を増やすことです。前期のうちに三十冊ほど本を読みましたが、下級生の読書冊数と比べると、まだまだだと感じます。だから、後期にはページ数のある本とそうでない本を並行して読んだり、昼休みの図書室や休日に図書館へ行って本を借りたりするなど本を読む時間を増やすことを心がけます。私たち六年生は、半年後に卒業を迎えます。卒業までに心残りがないよう学習も生活も誠心誠意頑張ります。